

# 特別活動

## 各活動の特質を踏まえた児童生徒の自主的、実践的活動の充実

### 授業づくりのポイント（学級活動）

※数字は活動例と対応

#### 学級活動(1)

- 必要感のある議題を学級全員で決定できるよう、日頃から様々な関わりの中で、よりよい学級・学校生活づくりへの児童生徒の問題意識を喚起する。
- よりよい合意形成が図られるよう、意見の違いを大切に、多様な意見のよさを生かすとともに、発達の段階に即した指導を行う。
- 決めたことを協働して実践し、その成果や課題を実感できるよう、事後の活動の充実を図るとともに、実践の様子や振り返りを掲示するなどして共有する。

#### 学級活動(2)(3)

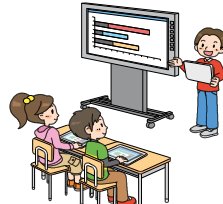
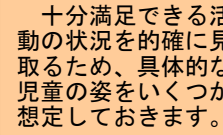
- 題材を自分事として捉え、問題意識を高めることができるよう、アンケートや資料等を活用する。
- 自分に合った具体的な実践目標や解決方法を意思決定できるよう、「学級での話し合い」を生かして、自分の考えを広げたり、自己の課題について多面的・多角的に考えたりする場面を設定する。
- 決めたことを粘り強く実践し、現在や将来の生活について意識することができるよう、定期的な振り返りの時間を設定し、実践状況を確認し合ったり、目標の見直しを図ったりする。

学級活動(1)～(3)の特質の違いを踏まえるとともに、事前・本時・事後の一連の学習過程の中で、「目指す児童生徒の姿」を具体的に設定して評価に生かしたり、補助簿を活用して顕著な事項を記録しておいたりするなど、効果的で効率的な評価となるよう配慮する。

### 参画意識を高め、自治的能力を育むことを大切に活動例 ～学級活動(1)～

#### 小学校第4学年 議題「4年2組の歌をつくろう」(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

◇本時のねらい 学級のよさや互いのがんばりを認め合う「学級の歌」をつくるために、多様な意見のよさを生かしながら、歌詞に入れる言葉や必要な役割を考えることができるようにする。

	児童の活動（事前・事後） 話し合いの順序（本時）	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】	学習過程に即して評価の観点を重点化し、それぞれの過程でどのような資質・能力を育みたいのかを明確にすることが大切です。
問題の発見・確認	事前	・ 替え歌で作成することを確認するとともに、替え歌の基となる曲の案を募集し、みんなで決定する。 ・ 学級のよさを表す替え歌の歌詞に入れた言葉を考える。	◎学級の歌づくりへの見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 ◎学級のよさを表す言葉をアンケートに書いている。 【思考・判断・表現】	アンケートの集計や結果の提示などにICT機器を効果的に活用します。インタビューや映像、写真等を活用することも有効です。①
		1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由や話し合いのめあての確認 5 決まっていることの確認と曲の確認	・ めあてをもって自分の役割に臨めるよう助言する。 ・ 提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の課題であることを確認できるようにする。	
解決方法等の話し合い	本時	6 話し合い 話し合うこと(1) 「歌詞に入れる言葉を決めよう」  話し合うこと(2) 「みんなで楽しく歌うために必要な係を決めよう」	◎提案理由等を視点に、よりよい意見はどれか比べ合っている。 ◎合意形成に向けて、意見のよさを生かしたり創意工夫したりしている。 【思考・判断・表現】	自分と異なる意見や少数の意見も尊重して、合意形成を図ることができるようにします。②
		7 決まったことの発表 8 話し合いの振り返り 9 先生の話 10 おわりの言葉	・ 合意形成する際に、学級のよさを表している要素は何なのかを考えることができるよう助言する。 ・ これまでの経験を基に、必要な係は事前に短冊を用意しておく、今回新たに加えるべき係に絞って話し合えるようにする。	
解決方法の決定	事後	・ 係ごとに協力して活動に取り組む。 ・ 完成した歌をみんなで歌う。 ・ これまでの活動を振り返って感想を書く。	◎これまでの活動を振り返り、自他のよさやがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 【主体的態度】	一連の活動で、どのように学級が変容したのかについて振り返るとともに、自分や友達が主体的に関わることによって、学級生活がよりよくなったことを実感できるようにします。③
決めたことの実践 振り返り 次の課題解決へ		・ 主体的に活動できるよう進捗状況を確認し、声掛けを行う。 ・ 学級生活をよりよくしていくことができるとい実感がもてるよう助言する。		